

2年 学年だより

No.8

2022.10.12

豊中市立第十八中学



ジェンダー平等教育感想

○改めてお話を聞かせてもらってL B G T Qのことを再度認識させてもらいました。自分がもしカミングアウトされたときは無意識にアウトイングしそうなので、本当に気を付けようと思いました。困る部分がL B G T Qでない人より多いと思うので、将来はそういうのが、なくなるような法律、施設を使つていきたいと思いました。

○自分の身近になくて「いいや」ではなく、将来的には関わることもあると思うので、今日聞いた話を大切にしたいと思います。相手の気持ちを理解して、話すことが重要だと思うから、「ありがとう」や「困っていること」「誰に言いたくて誰に言いたくないか」などを考えて話すのが重要だと思いました。今後は男女を区別しないように話したり、行動することを意識したいです。

○2回目の話を聞いて、私は再び、L B G T Qの大変さやトイレ問題とか、書類との性の違いで困ったことを学びました。昨年私はこの「振り返りプリント」に彼女彼氏という言い方をやめて、少しでも差別を少なくしていきたいと書きました。それでも長年言い続けてきたことはすぐには変えることができなかったもので、それと同じように、世の中はすぐには変われないけれど、少しずつ変わると思いました。

○世界基準3か条で日本は一つしかできてないのはおかしいと思う。日本はもうちょっとL B G T Qに目を向けた方がいいと思う。友だちが自分にカミングアウトしてくれたらその子のことを否定せずに、「ありがとう」って言う。日本はいつか、同性者同士の結婚を認めるべきやと思う。

○トランスジェンダーの人がトイレに行くときになぜ困っているのかを知ることができた。L B G T Qの人たちが堂々と生きられなかったり、結婚することができない世の中をなくすために、私には何ができるかを考えることができた。私一人だと何もできないけれど、たくさんの人がジェンダー平等の世の中をつくりたいという思いだ

ったら、少しずつかもしれないけれど、みんなが生きやすい社会をつくっていきけるのかなと思った。もしこれから、友だちや身近な人がL B G T Qだと伝えてくれた時は「話してくれてありがとう」と言い、勝手に第三者に言いふらしたりしないようにする。少しでもL B G T Qの人の力になれたらなと思った。

○一番印象深かった話はトイレの話です。トイレの前で困っている人がいるのにその解決策が見当たらず、唯一男女どちらでも入れる多目的トイレでさえも批判されてしまうことがあると聞いて、相手を傷つけずなおかつ周りにも迷惑をかけずに助けることはとても難しいことだなと感じました。人は見かけによらず心の中に何かを抱えている事がありますが、それを知らない自分たちは知らず知らずのうちにその人を傷つけてしまっているかもしれません。なので、人に何かを言ったり何かをしたりするときは、まず考えてから行動を起こしたいなと思います。

○私は今までにカミングアウトしたりしてくれた経験がないけど、これから生きていくうえで、このようなことがあったら言ってほしい言葉を心がけようと思いました。日本は性別を変えたかったら手術をしないと行けなくて、手術しなかったら結婚もできないのはつらいことだと思いました、手術したら赤ちゃんも産めないことに対して外国の法律と比べると日本も早くこのような性別が男女だけじゃなくても過ごしやすい世界に変わってほしいと思います。

○性がどちらかわからない人が悩んでいると聞いて、自分は新しいトイレ製作をしてみたいと思いました。(中略)入ってすぐ、トイレの中には個室がたくさんあり、(結構広めの)その中の構造は、女性用のトイレも男性用のトイレも設置して、一つの個室トイレとして使うというのはどうでしょうか。迷いなくトイレに入れて、女性用だけ、男性用だけにとらわれず、2つのトイレを1つの個室トイレとして、自由に気づかいなく、使うことができるという、すばらしいトイレになっています！

○今日の話聞いて自分はもしかしたら自分の近くにL B G T Qの友だちがいて、知らず知らずのうちにその友達を傷つけるような発言をしていたらどうしようと思った。L B G T Qの友だちに対して、あなたは どうする？という質問について考えたことで、L B G T Qの問題はとても複雑で、自分たちだけで解決しようと思っても限界がある。だから周りの人に教えてあげたり、身近なところからだんだん広げていって、ジェンダー平等な社会になっていけばいいなと思った。

○今日のお話を聞いて、いろんな人がいることを知りました。時には言葉はナイフとなり、悪気がなくても人の心を突き刺してしまうんだなと思いました。トイレの問題のときに確かに誰でも気軽に入れるようになればなと思いました。そうなるとうと、L B G T Qに当てはまる人じゃない人がそういう人に偽って女子トイレとかに入ってしまうんじゃないかと考えるとそんなに簡単ではないのだと思いました。普通の人、普通じゃない人、ではなく、みんな個性だと思える社会になればいいなと思いました。

○昨年のお話を聞き、家族と話した時に、「ママ世代はこういうお話は聞くことも、そういう人がいるということも知らなかったから、すごくいい時に生まれて良かったね」とママが言っていたのを思い出し、自分も子どもとか、こういうことを知らない世代の方にも伝えていきたいと思いました。自分はL B G T Qではないと思うけど、理解したい気持ちはすごくあります。(中略) L B G T Qの方も、その他の方も個性も自分の個性も大切にしたいと思いました。

○今日の話聞いてまず自分が思ったことはA L L Yになろうということです。L B G T Qの人がいたら優しく相談に乗ってあげられて、無意識の偏見に気づける、正しい表現を使う、そんな人になりたいです。それを聞いてもアウティングはしない。そのようなこともわかりやすくすごく勉強になりました。自分は今までそんなことを全然意識せずに生きていましたが、これからは少し、意識しながら生きようと思いました。

○今日の話聞いて思ったことはパートナーがトイレで男子トイレか女子トイレかで迷っていて一緒についていっているのがとても優しいなって思いました。日本では性についての法律がまだ一つしかクリアできていないのを初めて知って早くクリアできたらいいのになと思いました。

○前回の時よりも詳しいお話が聞けて良かったです。日本がジェンダー平等が進んでいないのは知っていたけれど、G 7の中で三カ条をすべてできていないのは日本だけでしかも一つだけしかできていないというのは初めて知って驚きました。自分も使われてあまり良い気分にはなれない言葉(男らしく女らしくのような)は使わないよう意識していたけれど、もしかしたら、無意識に使っているのかもなと思いました。気を引き締めたいと思います。

○今日の講演を聞いて、改めてL B G T Qの人の立場の尊重が大切ということ学びました。カミングアウトなどは受け入れたり、アウティングは絶対にしてはいけないことを知りました。それを踏まえてぼくはA L L Yになろうと思いました。

○海外と国内ではジェンダーについて法律とかが遅れているのは知っていたけれど、G 7で唯一日本だけ遅れているのは初めて知った。かなり問題になっているはずにもかかわらず、法律が変わっていないのはなぜなんだろうと思った。トイレの話で、人によってもどこに行くか違うのは初めて知ったし、本人が一番安心してトラウマも消えるようになれば一番良いなと思いました。